

第 10 章 営 繕

第 1 節 営 繕 業 務

1 営繕業務

営繕業務には、知事部局及び教育庁の依頼により実施する県有建築物の新築・増改築と、県が保有する425施設(延べ面積約202万㎡)のうち、309施設(延べ面積約153万㎡)について行う維持修繕、長寿命化等があります。

これらの工事の調査・設計・工事監督等を通して、各地域振興局と連携を図りながら、安全で安心な県民共有財産の整備を行っています。

2 重点的な取組

営繕工事の技術管理業務を通じて、県民共有の財産である県有建築物が、多くの県民に親しまれ積極的に活用されるよう、次のような取組を実施しています。

- ① 県民に親しまれる建築物の計画
 - ・街並みや周辺環境と調和した建築計画
- ② 利用者にやさしい建築物の推進
 - ・地域の気候風土を踏まえ、敷地と建築物の各機能に応じた適切なバリアフリーを推進
- ③ 環境にやさしい建築物の推進
 - ・県有建築物の環境負荷の低減化
 - ・自然エネルギー(地中熱、雪冷房、太陽熱等)、雨水、地下水の利用
 - ・再生資材の活用
- ④ 県産材を活用した建築物の推進
 - ・秋田杉に代表される県産材の活用
 - ・公共建築物の木造化、木質化の推進
- ⑤ 安全・安心に使える建築物の推進
 - ・構造上、防災上の安全性、使用材料の安全性の確認
- ⑥ 広報の充実
 - ・美の国あきたネットを活用した発信情報の充実
- ⑦ 公共建築物の環境マネジメントの推進
 - ・環境負荷低減計算ソフトを利用した修繕計画の作成
- ⑧ 天井等耐震化の推進
 - ・特定天井の脱落防止対策の推進

[県産材活用の事例]



動物愛護センター

- ・平成31年3月 竣工
- ・木造一部鉄筋コンクリート造 平屋建
- ・建築面積 1,802㎡
- ・延べ面積 1,496㎡
- ・構造体の一部にCLTや集成材を活用し、内外装(壁)を木質化



林業研究研修センター 機械実習棟

- ・平成30年3月 竣工
- ・木造 平屋建
- ・建築面積 450㎡
- ・延べ面積 450㎡
- ・柱、梁の構造体に集成材を活用し、内外装(壁)を木質化

第2節 営繕関係事業

1 令和元年度営繕工事の概要

【営繕課事業】

令和元年度の営繕課事業は修繕工事を主として年度総工事費約14億円の見込みです。
これは、対前年度比で、約13%の増となっています。

(平成31年4月現在)

修繕種別	令和元年度当初		平成30年度当初		対前年度比較	
	件数(件)	工事費(千円)	件数(件)	工事費(千円)	件数(%)	工事費(%)
大規模修繕工事	13	455,153	14	771,047	93%	59%
天井等耐震化工事	3	811,320	9	337,640	33%	240%
指定修繕工事	1	22,649	2	28,635	50%	79%
一般修繕工事	8	61,857	8	62,162	100%	100%
総 計	25	1,350,979	33	1,199,484	76%	113%

【受託事業】

令和元年度に知事部局及び教育庁から事務の依頼を受けて実施する予定の受託事業は、延べ103件、年度総工事費約147億円の見込みです。これは、対前年度比で、件数でみると約33%の減、年度工事費で約78%の増となっています。(事務依頼ベース)

(平成31年4月現在)

機 関 名	令和元年度当初		平成30年度当初		対前年度比較	
	件数(件)	工事費(千円)	件数(件)	工事費(千円)	件数(%)	工事費(%)
知事部局	78	11,078,385	119	7,567,782	66%	146%
教 育 庁	25	3,591,024	34	670,767	74%	535%
総 計	103	14,669,409	153	8,238,549	67%	178%

※ 修繕工事等を含む

2 令和元年度主要工事の概要

令和元年度に工事継続中又は工事発注予定の主な事業は次のとおりです。

(平成31年4月現在)

○県・市連携文化施設整備事業〔秋田市〕 ・構造規模：SRC造(一部S造)6/1 他 ・延べ面積：約22,600㎡ ・事業年度：R元～R3	○比内支援学校整備事業〔大館市〕 ・構造規模：RC造2/0 他 ・延べ面積：約8,200㎡ ・事業年度：H30～R4
○能代地区専門系統合高校整備事業〔能代市〕 ・構造規模：RC造(一部S造)4/0 他 ・延べ面積：約19,900㎡ ・事業年度：R元～R5	○都市公園安全安心事業 あきたスカイドーム膜屋根更新〔秋田市〕 ・構造規模：RC+S造2/0 (鋼骨組膜構造) ・延べ面積：約12,100㎡ ・事業年度：R元～R3

3 事業紹介

【完成施設】

(1)秋田工業高等学校改築事業

〔建築場所〕 秋田市保戸野金砂町地内

〔竣 工〕 平成31年3月

〔計画概要〕 鉄筋コンクリート造 4階建て ほか
延べ面積 約25,000㎡

〔施設の特徴〕

次世代のものづくりの基盤を支える人材育成の場として「学校の伝統を引き継ぐ学校」、「地域との関わり学習に活かす開かれた学校」「弾力的に展開できる柔軟な学習環境」をコンセプトに計画しました。

実習棟を除く全面的な建て替えにあたり、正門から直線的に伸びる軸線を残して、その延長線上を中心に、県産材を活用した体育館棟、武道場、校舎棟、セミナーハウスなどを配置しました。

体育館棟は大空間を有するアリーナとし、体育競技に限らず多目的に利用できるようにしています。また、大規模な改修となる実習棟は、ものづくり教育の充実を図るために、建物自体が学習教材として活用できるように見える化をしました。



(2) 水産振興センター栽培漁業施設整備事業

- 〔建築場所〕 男鹿市船川港台島字鶴ノ崎地内
〔竣 工〕 平成30年度
〔計画概要〕 親魚棟、生産棟、育成棟
鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
平屋建 ほか
延べ面積 約 3,600㎡

〔施設の特徴〕

第7次栽培漁業基本計画（平成27～令和3年度）の目標達成に向け、低コストで効率的な栽培漁業を推進し、新たな栽培魚種の種苗生産技術の開発・普及を図るため、最新技術を導入した栽培漁業施設を整備します。整備予定の主な施設は、親魚棟、生産棟、育成棟の3棟で、いずれも鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）となっており、マダイ、トラフグ、キジハタ等の種苗生産を行うための水槽及び設備を備えています。良質な種苗生産ができるよう、閉鎖循環式生産システムを導入するほか、メンテナンス性に優れた海水ろ過システムなど最新設備を導入します。また、これらの施設を適切に運営するため、中央集中管理方式の機械棟を整備しました。



(3) 動物愛護センター整備事業

- 〔建築場所〕 秋田市雄和椿川字奥椿岱地内
〔竣 工〕 平成30年度
〔計画概要〕 動物愛護センター
木造（一部鉄筋コンクリート造）
平屋建 ほか
延べ面積 約 1,500㎡

〔施設の特徴〕

動物愛護センターは、「人と動物が調和しつつ共生する社会の形成」に向けて、犬猫の飼育スペース、ふれあいや学びを深めるスペース、ボランティア活動のためのスペース等を備えた動物愛護の拠点となる新たな施設です。県立中央公園内に位置し、高速道路インターチェンジに近く県内外からアクセスしやすい立地となっています。木造一部鉄筋コンクリート造平屋建てで、一部耐力壁としてCLT（直交集成材）を使用しています。また、収容動物の譲渡推進のための訓練や健康管理ができるよう、犬用譲渡舎、猫用譲渡舎及び機能訓練室を設置するほか、入院・手術室を整備します。このほか被災動物の一時保護や避難訓練の実施を行うため災害用備蓄倉庫を整備しました。



【事業継続中施設】

(4) 県・市連携文化施設整備事業

- 〔建築場所〕 秋田市千秋明德町地内
〔竣工予定〕 令和3年度
〔計画概要〕 県・市連携文化施設（仮称）
鉄筋鉄骨コンクリート造（一部鉄骨造）
地下1階地上6階建 ほか
延べ面積 約 22,600㎡

〔施設の特徴〕

県・市連携文化施設は、文化の力で秋田の新しいステージを創造していく中核的な役割を担う施設として音響効果の優れたホールと、高質な劇場空間を併せ持つ高機能な施設（2015席と806席のホール）を計画しています。

本県の文化振興の中核的な機能を担い、県都秋田市の玄関口である秋田市から近く歴史有る千秋公園を背景とした立地に相応しい配置計画と外観とするほか、秋田杉をはじめとする県産材の活用を図り、本県の文化を象徴するに相応しい建物を整備します。また、高齢者や障がい者がアクセスしやすく、さらには外国人も含め、全ての人にとって利用しやすいよう、ユニバーサルデザインを取り入れるとともに、再生可能エネルギーの利用や省エネルギー型の機器の導入など環境にやさしい施設を整備します。

